愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】専門演習Ⅳ		
担当者(Instructors)	宮本 佳範	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

前期に決めた各自のテーマについての卒業レポートを完成させます。そして、各自内容をスライドにまとめて1月のゼミナール発表会で、代表者に発表してもらいます。4年間の集大成としてより良いレポートになるように最善を尽くしましょう。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	個人での論文執筆、それに対する個人指導が中心になります。ただし、必要に応じてゼミ内での発表等を織り交ぜることで、お互いの研究の進捗や内容の共有を図ります。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	今後の流れについてのガイダンスを行う。	□
第2回	夏季休暇中の進捗報告	夏季休暇中の進捗状況を順番に報告する。	□
第3回	夏季休暇中の進捗報告	夏季休暇中の進捗状況を順番に報告する。	□
第4回	夏季休暇中の進捗報告	夏季休暇中の進捗状況を順番に報告する。	□
第5回	今後の方針の検討	最終的なレポートの方向性を確定させる。	□
第6回	今後の方針の検討	最終的なレポートの方向性を確定させる。	□
第7回	完成に向けた最終調整	各自の進み具合に応じた指導を行う。	□
第8回	完成に向けた最終調整	各自の進み具合に応じた指導を行う。	□
第9回	完成	論文を完成させる。	□
第10回	発表準備	各自のレポートの内容をスライドにまとめる。	□
第11回	発表準備	各自のレポートの内容をスライドにまとめる。	□
第12回	完成論文の発表	ゼミ内で完成した論文の発表会を行う。	□
第13回	完成論文の発表	ゼミ内で完成した論文の発表会を行う。	□
第14回	ゼミ発表会で発表	ゼミ発表会で発表する。	□
第15回	振り返り	これまでの取り組みを振り返る。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業の前後各2時間程度、自らのテーマに関する調査・研究を行う。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

行った作業に対して、その都度コメントする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018地域ビジネスDP2	現実を多面的に捉え、分析することができる。
	◇ 2018地域ビジネスDP3	問題解決に向けたアイデア等を論理的に提示できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

卒業レポート（70%）

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		